



去る六月九日、正午から、第五福竜丸展示館創立四周年記念祝賀会が、日比谷・松本楼で開催されました。

祝賀会には、三宅泰雄平和協会会長を始め、都建設局南部公園緑地事務所の石井已則所長、小田博管理課長と新聞記者など三二名の方々が出席しました。

同会は、田沼肇協会理事の司

展示館創立4周年記念祝賀会 和やかに開催

会場で始められ、三宅泰雄会長の主催者挨拶にひきつづき、広田重道専務理事が、「第五福竜丸展示館管理レポート」第四号を基に、第四年度の年次報告を行いました。

更に、斉藤鶴子協会評議員の音頭で乾杯をし、石井已則南部公園緑地事務所長の来賓祝辞のあと、メッセージが紹介され、和やかな懇談が行なわれ、本多喜美協会理事の閉会の辞で会を閉じました。

尚、当日紹介されたメッセージは、次の通りです。

◇ 東京都知事 鈴木俊一
多くの来館者に核の恐怖を訴え、世界平和実現の誓いを新たにさせた第五福竜丸展示館の創立四周年を祝し、ご列席の方々の増々のご活躍を祈念します。

婦団連会長 榎田ふき
ノーモア・ビキニの証言者

- #### 各地の催し
- 80年原水爆禁止世界大会
八月二日～三日
東京国際会議
八月五日～六日
広島世界大会
 - 人間をかえせ
七月二十九日・八月六日
東京文化会館大ホール
東京労音主催
 - 原爆映画一挙上映
八月四日～一〇日
池袋・パモス青芸館
グループ今生人共催
 - 第四回私たちと戦争展
八月一五日～二〇日
大阪府労働センター
私たちと戦争展実行委主催

▽総理府が七月一日に発表した「社会意識に関する世論調査」をみると、我が国が進んでいる方向について、全体として「良い方向」と思う人三六%「悪い方向」とみる人二九%「わからない」三五%となっています。

▽つまり、日本の進路に不安をもっているものが、国民の三割を占め、先き行き不明を加えると六割以上が、落付かない気持ちでいるわけです。一寸先きは闇だとシャレていられません。

▽汚職・腐敗をのぞけ/高物価増税に終止符を打て/保革逆転/世直しのチャンス/と騒ぎ立てた衆参両院の選挙もあつけないく終り、すべてが頼みかむりで元の木阿彌です。これでは、若い者に政治不信が強くなるのも止むを得ないと思います。

▽せめて、原水禁世界大会だけでもすかつとした統一を期待したいものです。梅雨あけの青空高く統一の旗

(H)

編集後記

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話(521)8494

通算来館者 17 万人突破

6月 月間来館者数	3,387名
月平均来館者数	3,503名
日平均来館者数	137名
通算来館者数	171,658名

統一原水禁世界大会に 何を期待すべきだろうか

● 統一原水禁世界大会の開催
ことしの原水爆禁止運動にとつての大きな朗報は、六月二十八日に統一世界大会を開催する準備会が発足したことです。

それは、地婦連、生協連、日青協、宗教NGO懇などの市民団体の熱意によって、日本原水協、原水禁国民会議を含む幅広い民主・平和団体の「統一」への合意が生み出されたものであり、私もこれを拍手をあげて歓迎するとともに、これまでに努力された団体、個人にふか敬意を表します。

● 何が統一の合意の原動力か
この統一の実現の報道とともに朝日新聞六月二十九日朝刊に岩垂弘記者の解説記事がのせられ、次の如く述べています。

「(前略)統一の流れを断ち切らせなかったものは何かといえれば、日本の原水禁運動を何としても再分裂させてはならないと

いう市民団体の熱意と、このところ、ますます激化している世界の核軍拡競争に対し、民衆の力で何とか歯止めをかけたという関係諸団体の危機感があったといえよう」と。

この指摘は正しいと思います。

● 核軍拡競争に直面する日本
いま、世界の核軍備競争はますます烈しさを増していますが、とくにアメリカのカーター政権は日本の軍備拡張を、敢て内政干渉の形をとり乍らも、強引に要求してきています。それが日本の核武装につながる危険性については、米上院外交委員会の東南アジア・太平洋問題小委員会のジョン・グレン委員長(民主党議員)が六月二十七日に公表した「東北アジアの軍事的安定に対する日本の貢献」という報告書が明らかにしています。そして、日本の軍備の急激な増強に反対しています。

こうした情勢のもとで私たちは統一原水禁世界大会に何を期待すべきでしょうか。

● 統一原水禁世界大会への期待
何よりも世界的に激化している核軍拡競争にたいして、被爆国日本の立場から、鋭くその中止を呼びかけ、必要な国際会議の開催を強く要求すべきでしょう。そのために中性子爆弾を含む核兵器の開発、実験、使用など全面的な核兵器禁止の行動を国際的に提起すべきです。

また、あいまにされてきたビキニ事件の被害の調査、ミクロナシア・ポリネシアなど太平洋実験地域の住民の被災の実体調査などを強く国連に要求する決議を行うべきだと思います。

もちろん、国内的には「被爆者援護法」の制定を旨として政府に迫る気運を盛りあげねばなりません。それが十分に足ぶみすることは許されません。グローバルな運動の提起が大切です。

(広田重道 平和協会・専務理事)

連載

平和をねがう人々の声 (終)

久保山さんによせられた手紙



一通の返事

つたのであります。

連載を進めているうち、当時、久保山さんに手紙を出した人は、(政省)に入り、公務員として過現在どうしているかと無駄と思

返事を下さったのは、連載の五回目に紹介しました久保山さんの無線学校時代の同窓生、永沼勝治さんです。

此度、第五福竜丸のことについて御便りをいただき、深謝申し上げます。

第五福竜丸の貴重な体験と、また、広島や長崎のような惨事が再びこの世の中にあらわれな

便りを出した二十七通の他、都内の手紙の主には、電話か直接たづねていきました。

◇ 請願書の返事

一方、この連載の六回目に紹介しました、元清瀬病院の遠山公人、堀内仲八、草間保の三氏

小学生からの手紙

六月十一日は埼玉県鳩ヶ谷市立中居小学校の六年生、約二百名が見学を訪れました。

増えてきた社会見学の中でも中居小学校の熱心さは、毎年印象深く残っています。

展示館を守るおじいさんへ

初めまして、おじいさん。おじいさんは何年この展示館を守

速足に行く前の日、中田先生に第五福竜丸の話を書きました。

私の心の中になにかがときささったようなへんな感じがしました。

久保山さんあなたはそのすぐくおそろしいめにあつたのです

来館者の声から



クラスで(軍縮交渉史をテーマとした大学のゼミ)今度、

ますか？あなたの事、小学校の社会で習いました。

今日、なぜだかこの船を見

今日、この展示館のような地道

これからは必要になってくると思っています。

僕も、個人的に、平和運動にかかわってきて、これからも、

酒井 洋芳

かわいそう！私たちは原爆の恐しさをしらないけれど、

久保山さん、天国でどうして

堀田 恍子